

# 第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

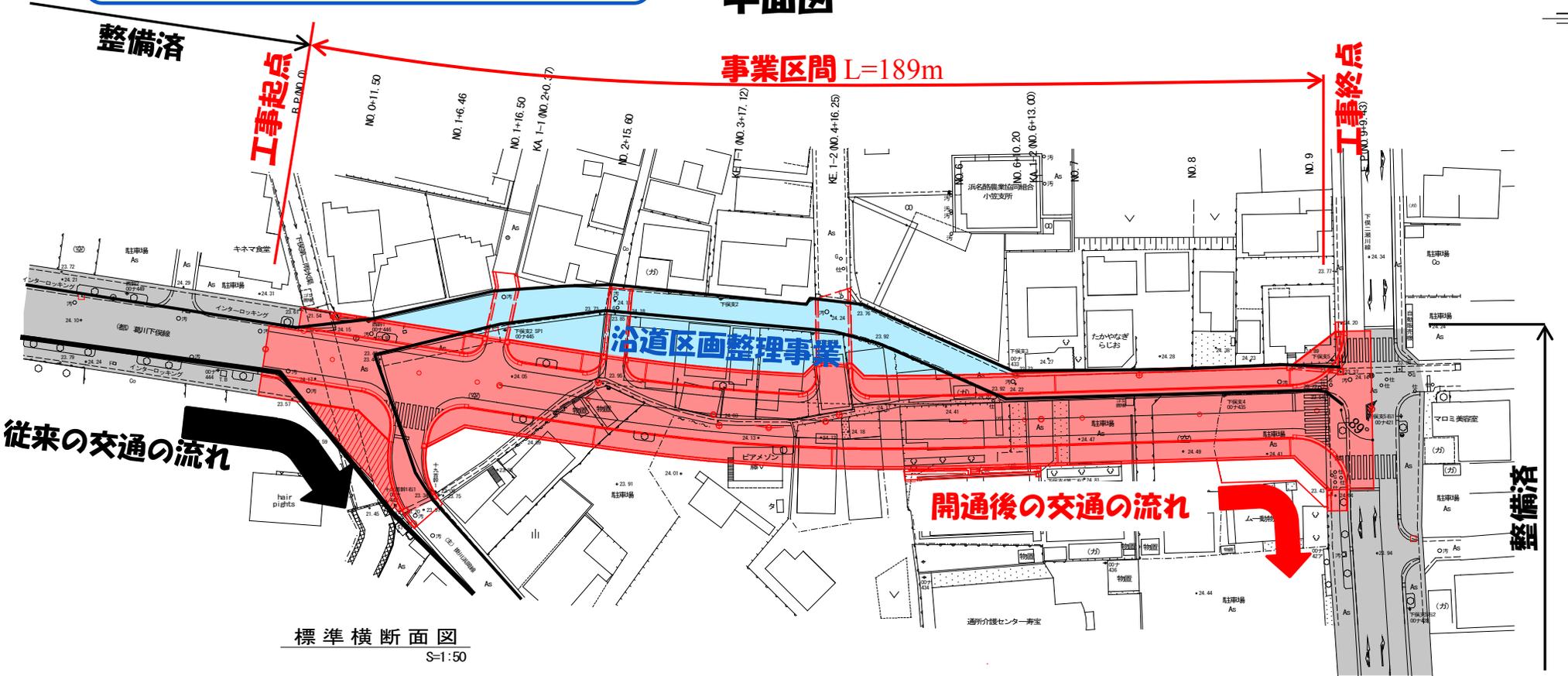
ふりがな 応募者名		しずおかけんふくろいどぼくじむしょ 静岡県袋井土木事務所
街路事業	ふりがな 事業の名称	くずかわしもまたせんえんどうせいびがいろじぎょう 葛川下俣線沿道整備街路事業
	ふりがな 事業主体	しずおかけん 静岡県
	ふりがな 実施都市名	かけがわし 掛川市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		<p>○事業延長:L=189m ○事業費:540,089千円</p> <p>○幅員:W=16.0m ○事業期間:H25～H29(H28完)</p>
事業の目的		<p>都市計画道路葛川下俣線は掛川市葛下を起点に十九首・小鷹町に至る、延長2.3km、幅員16mの道路として昭和36年に都市計画決定されました。概ねのルートは旧東海道を通り、掛川宿の表町として栄えた中心市街地を東西に結んでいます。</p> <p>今回整備する延長の189m区間は住家連担地区で、道路線形がS字型に曲がり、歩道がない、幅員7m程度の狭隘道路です。現道は車のすれ違いが困難なうえ、小中学校の通学路として通学する、児童・生徒の交通事故の危険性が高い区間です。地元自治会等の整備要望のあるなか、住民との話し合いを重ね、安全・安心に通行できる道路整備と土地の有効利用を図るため、沿道整備街路事業を導入することになりました。</p>
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	<p>沿道整備街路事業の導入により、従来は旧道として残った道路用地が換地され、宅地として有効利用されることで良好な市街地形成の実現に資することができます。</p> <p>沿道整備街路事業は、認可取得前に地元の100%同意を得るため、事業開始から地元の協力が得やすく、短期間の完成が期待できます。現道は通学路でありながら幅員7m程度の歩道の無い道路ですが、両歩道を整備することで安全な歩行空間を確保します。</p>
	定量的効果 (検証済の場合記入)	<p>換地により生み出された区画3か所のうち2箇所は既に住宅の建設が完了しました。</p> <p>事業認可はH25からH29の5年間で取得し、平成28年9月末には完成し約3年半という短期間で事業を終え効果の早期実現を図っています。両歩道が整備され、近接する中学校の生徒の通学路として安心安全な歩道空間が確保されました。</p>
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働等</li> <li>・事業反対等があったか</li> <li>・合意形成等を図ったか</li> <li>・地域に配慮した点</li> <li>・その他</li> </ul>	<p>当初、用地の直接買収による街路整備事業では、余剰地が多く発生し、地元の同意が得られませんでした。今回、沿道整備街路事業により旧道を含む換地計画案を提示することで地元同意が得られ、良好な市街地形成の実現に資することができました。</p>

# 事業位置図



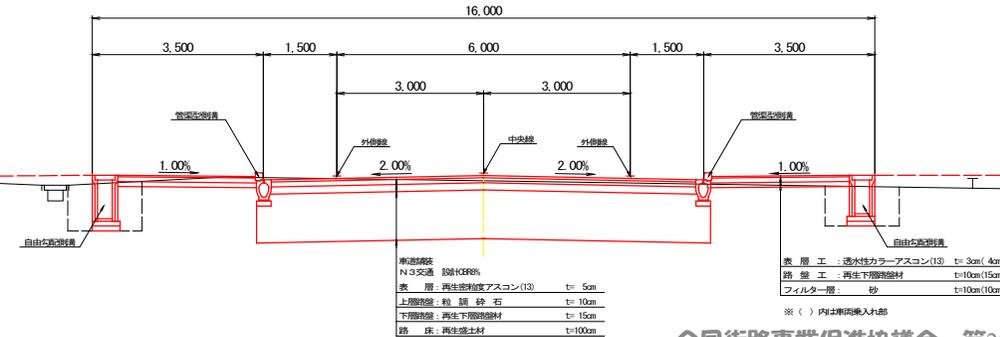
# 全体図(平面図・横断面図・縦断面図)

## 平面図



標準横断面図

S=1:50



# 事業前写真

平成24年6月撮影



平成25年1月撮影

終点から起点を望む

平成25年1月撮影



起点から終点を望む

全国街路事業促進協議会 第29回全国街路事業コンクール応募資料

すれ違い困難な通学路

# 事業後写真

平成28年8月撮影



終点から起点を望む

平成28年7月撮影



開通式で園児の行進

平成28年10月撮影

平成28年10月撮影



起点から終点を望む



通学状況

# 葛川下俣線の整備効果資料

施工前



施工後



**3年半で完成!**

スケジュール表(葛川下俣線)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
用地補償	①街路事業直買(15件)	←→				
	②公管金(18件)	←→				
	③上下水道電柱移転		←→			
測 試	用地調査 台帳修正	←→	◀▶		◀▶	↔
工 事	道路工事		←→			

上段:当初の予定  
下段:実際の工程

通常の街路整備事業では、旧道等の土地が残りましたが、沿道整備街路事業では換地することで、宅地として有効利用されています。

また、沿道整備街路事業は、事業着手前に100%同意のもと施工されるため、認可取得から3年半という短時間で工事が完成し整備効果の早期実現を図っています。

## 事業効果一覧表

大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備水準の低い地域の改善に寄与した。</li> <li>・道路ネットワークの形成に寄与した。</li> </ul>	◎
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。</li> </ul>	○
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。</li> </ul>	△
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故の防止に寄与した。</li> </ul>	○
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。</li> </ul>	◎
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。</li> </ul>	○
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。</li> </ul>	○
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の活性化に寄与した。</li> </ul>	○
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。</li> </ul>	△
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿道環境の改善や充実に寄与した。</li> </ul>	◎
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。</li> </ul>	○
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。</li> </ul>	△
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。</li> <li>・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。</li> </ul>	△
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。</li> <li>・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。</li> </ul>	◎

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

# 路線全体の進捗状況



# 都市計画図

